

## 8. 岩出山あったか村の花の植栽を中心とした活動

グループ名 ボランティア28うしとら  
代表者 阿部敬也

### 1. 活動の目的

地元中学校を卒業した在郷同期生有志が、定年で職務から開放された機会を捉えて、ボランティア活動によって第二の人生の生き甲斐を開拓したいとして結成されました。

① 各々の同期生が退職後の心身の健康保持や管理を容易に出来る環境を作ること。

② そのための手段として、自分たちを育ててくれた地域社会に、恩返しの意を込めてボランティア活動で貢献して、ささやかな達成感を得ること。

③ グループ内だけでの活動ではなく、広く地域住民に呼びかけて協力態勢を構築すると共に活動の連帯意識を高めること。

### 2. 活動の概要

活動の発端は平成12年、公的な施設、知的障害者を対象とした小規模作業所への支援が端緒になります。通所者の作業賃金が低く、季節の鉢花を道の駅で売り出して幾ばくかの収入増に結びつけようとなりました。私達、素人集団のボランティアが見様見真似で花作りを始めました。当初、店での評判が良くほどほどの成績を上げたのですが、2年目には出店中の鉢花の管理が行き届かなくなり挫折してしまいました。

爾来、当ボランティアグループは花を中心とした活動に挑戦しています。

旧町時代に計画建設された福祉施設群(5施設、通称「あったか村」)を結ぶアクセス道路としてフラワーロードが敷設され、幅5メートル以上もある歩道の車道側に1.5メートル幅で設けられた全長500メートルほどの花壇。これが私達の活動のメインの職場になりました。

通年、花を絶やさないで、施設を利用する方々や散歩する地域住民に花の香りと彩りを提供して人々の心を和ませています。

春の植栽日には、担任の先生に引率された地元小学校3年生の子ども達や、花壇の近くの保育所の園児などが大勢参加して喜々として賑やかに手伝ってくれます。

その他に、歳末には社会福祉協議会事業の配食を利用されている一人暮らし高齢者の方々へ「愛の鉢花宅配便」と称するプレゼント活動、包括支援センターからの依頼で高齢者宅地内の倒木樹木や枯れ枝の伐採処理、市が第三セクターで経営する農家レストランの邸内環境整備等々のお手伝い活動も行っています。

先の東日本大震災時にはひとり暮らし高齢者宅の復旧作業も行いました。タンスがひ

っくり返って引き出しや押し入れの夜具などが散乱し、砂埃にまみれて散々な状況でした。埃を払い落として元の場所へ納め、併せて、吹き飛んだ縁側のアルミサッシ枠をグループの建築業経験者が元の場所に固定して感謝されたこともありました。

### 3. 決算報告書

(単位:)

収 入	大同生命厚生事業団助成金	100,000
支 出	パンジー苗代(1,000本×50円)	50,000
	マリーゴールド苗代(1,000本×50円)	50,000
	除草剤代(ラウンドアップ)	2,138
	肥料代	8,652
	・NMB燐加安14(20kg1袋) 2,646円	
	・化成肥料8-8-8K(10kg1袋)1,280円	
	・マルキーパーAz 100 704円	
	・がんばる4号(20kg1袋) 1,509円	
	・石灰窒素(20kg1袋) 2,513円	
	培養土代(25kg)	698
	配食利用者宛鉢花宅配使用 鉢補充分12個	1,096
	通信費(連絡用ハガキ代40枚×52円)	2,080
	合 計	114,664

### 4. 最近の活動状況(写真記録)



強風で折れた枝を伐り落とす  
2014.4.25



竹林間伐の後片づけ作業  
2015.4.28



↑  
 昨秋に植栽したパンジー  
 2015.5.3

花苗植栽の準備作業 降雨が  
 なく苦劳しました  
 ↓ 2015.6.9



⇒  
 植栽その1 岩小3年生のお手伝い  
 2015.6.11

⇒  
 植栽その2 市立保育所  
 キリン組のお手伝い  
 2015.6.11



⇒  
 昨秋のパンジー植え付け作業  
 2014.11.5



←  
猛暑の中、繁茂した雑草の  
抜き取り作業  
2015.7.24

「愛の鉢花宅配便」を受け喜ぶ利  
用者 2014.11.22 ⇒



← 岩小5年生に「ボランティア活動」  
について講義しました 2012.12.06

岩小1年生に「昔の遊び」を教えま  
した 2015.1.25 ⇒

